

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和7年6月30日に管理業務の評価を行った結果は、次のとおりでした。

施設名	みつけイングリッシュガーデン飲食物品販売施設(MEG CAFÉ 511)		
指定管理者	FFFFFun 株式会社	所管課	建設課
評価対象年度	令和6年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	80.0	評価ランク	A
所管課の講評			
R6年度の市への納入金は1,021千円となった。ブリテンインブルームゴールドコミュニティ賞受賞効果でガーデン来園者数が過去2番目を記録するなかで、MEGCAFEにも多くの来店者があり売上もR5年度比108.8%と好調だった。しかし、何とか収益をプラスにできたが、各種経費、食品の値上げ幅が大きく、利幅が小さくなってしまった。収益性の改善が今後の課題である。 顧客の満足度についても、昨年同様アンケート結果からよい評価を得られている。ほぼ不満の記載はなく、指定管理者が適切な運営を実施していることがわかる。 ガーデンの閉園期間の利用者を増やすことや、物販の収益を増やすといった課題に継続して取り組み、より安定的な収入の確保に努めていただきたい。また、市の指定管理施設として、今後も地域の活性化のため市内団体等との連携を積極的に図っていただきたい			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	79.1	評価ランク	B
評価委員会の講評			
イングリッシュガーデンの英国団体からの受賞により注目が増し来園者が増加したが、その波及効果としてしっかり店の集客に繋げている。そのかいあって飲食部門の売上が事業計画よりもかなり増加している反面、弁当部門と物販部門が計画の90%と伸び悩んだ。当該施設の魅力は、店内で見栄えのする飲食物を舌と目で楽しむことにあるので、今後の弁当部門の方向性には再考が必要かもしれない（コロナ禍の追い風はもうないと思われる）。人件費や水道光熱費の高騰が支出を高める要因になっているが、効率化による経費節減に努めて、収入を吸収してしまうほど膨らんでいない。事業収支はプラスになっているが、支出が計画以上に嵩んだことから、収支合計のプラス益は計画の約半分であった。人件費と燃料費は今後も増えていくことが予想されるため、支出を抑制する方策をさらに講じる必要があると考える。指定管理者には既にいくつかのアイデアがあるようなので、引き続き細部にわたる創意工夫を凝らして、堅実な施設運営を継続できるよう期待する。当該施設は、イングリッシュガーデンに併設していることから、冬期は客足が伸び悩んでしまう。この時期にも何とか十分な利用客を確保できれば、経営の安定化に繋がると思われる。引き続き、斬新なアイデアと工夫をお願いしたい。 他の組織との協働、特に企業との連携について、さらなる拡大を期待する。ピクニックセットのようなイングリッシュガーデンの存在を活かしたメニューについても拡大し、指定管理者が提唱している「庭を食べる」、「庭で食べる」、「食べる庭を造る」を着実に実現していったほしい。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）